

退任のご挨拶

阪口 貴子

日頃より本会活動へのご協力厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の総会をもちまして理事長を退任させていただくこととなりました。振り返りますと、平成18年より執行部となり平成26年から8年間理事長を務めさせていただきました。多くの皆様のお力添えにより無事終えることができました。ありがとうございました。

この間予期せぬ課題もありましたが、念じれば通じる、嬉しい体験もさせていただきました。また、自分ながらすごい持久力だったと思います。自宅から事務局までは、バスと電車を乗り継ぎ1時間以上かかりますが、事務局によく通ったものです。責任感で務めさせていただいたことと、日々送り出してくれたわが息子への感謝の思いがこみ上げております。事務局では、相互補完の中みんな楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。

私から、会長様方々にお願いです。手をつなぐ育成会は運動団体であり、知的障害のある方とその家族のための権利擁護団体です。これからは、地域づくり・人づくりです。自分たちの地域の課題を把握し、物言える会長になってください。

これからの福祉は、多様性を認める地域共生社会の中、本人主体です。親の高齢化に伴う課題・相談支援事業の充実・地域生活支援事業の格差の是正、などに向けて働いてください。

また、障がいのある子のお母さんの就業率も高くなってきて、時代に応じた育成会活動の推進もお願いします。

奇しくも、今年は奈良県手をつなぐ育成会を結成して60周年となります。会員の皆様には、育成会の存在意義を、この機に再度考える機会にして頂ければ幸いです。

現在、療育手帳所持者の方は奈良県下に約14,000人おられます。わが子だけでなく、わが子らの幸せを願う育成会であり続けていただきたいです。

最後になりますが、関係機関や福祉団体の皆様に、新しい執行部にこれまで以上のご支援とご鞭撻を賜ります事をお願いし、第7代目の理事長としての最後のご挨拶といたします。

編集後記

瓦版げんき8号をお届けします。今回の題字「げんき」は桜井市育成会の本人さんの作品です。力強い書道作品に「げんき」をいただきました。これからは、みなさんのいろんな「げんき」の題字を、広く募集したいと思います。親や家族の思いや願いと同様に、題字の原稿も事務局(広報編集委員会)までお届けください。

ホームページでは、全育連からの情報・サンメイト美術館などもご覧いただけます。

「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」で検索・または右のQRコードから。



会員どうしてつながりたい!

瓦版

げんき

題字 桜井市 塗本さん

第8号 令和5年7月31日 発行

一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11

奈良県社会福祉総合センター内

☎ 0744-29-0150 Fax 0744-29-0151

HP <http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>

メール n-ikuseikai@blue.ocn.ne.jp



ごあいさつ

理事長 住本 友成



この度、6月16日開催の定時総会をもちまして、一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会の理事長に就任いたしました。

8年間、理事長として育成会の発展に尽力をつくされた阪口理事長の後任ということで本当に私がやっていけるのだろうか、近年感じたことのないプレッシャーを感じる日々が続いておりますが、「仕事は意気に感じてするものや」と教えられた事を思い出して、頑張りたいと思います。

私は、特別支援学校や障がい者施設で40数年働くことができ、本人さんやお母さん方から多くの事を教えられ学ばせてもらいました。大淀養護学校で進路指導を担当していた時、お母さんから「私が元気なうちはいいが年をとって動けなくなったら子どもはどうなるのですか」聞かれ、私は何も答えることができませんでしたが、育成会はお母さん方の力で卒業後の進路、暮らしの場など作り上げてこられました。

全国の小・中学校の支援学級で学ぶ児童生徒数は平成21年13万5千人から令和2年30万2千人と10数年で倍以上に増加しています。一人ひとりの子どもが、より豊かな生活を送るためにも親と親とが繋がって、若いお母さん方の愚痴や悩みを聴くなど育成会の役割が大きくなっていくと思います。そのためには若いお母さん方に育成会活動の意義を広く伝え、理解してもらえるように、支援学校や支援学級とのより一層の関係づくりや啓発活動を進めて、一人でも多くのお母さん方に入会してもらい人材育成をして10年後の組織作りもしていきたいと思っています。

～最近でとっても嬉しかったこと～

ある日、ぶらりとカー用品の小物を買うために、スーパーオートバックスに寄りました。カーシャンプーと傷をとるワックスを買ってから外に展示してあるタイヤを眺めていると「お久しぶりです」と声を掛けてくれる店員さんがいました。店員さんは、高等養護学校を7年前に卒業したAさんでした。「今日はタイヤをお探しですか。車種はなんですか。」と聞いてくれ、スバルのXVだと言うと、すぐに車を見に行き4種類のメーカーのタイヤについて説明してくれました。その時、【お客様の声】を見せてくれました。

この内容を読むなり私も嬉しくなり、Aさんの勧めるメーカーのタイヤを買いました。私もお客様のように、とっても気持ちの良い買い物をする事ができました。

～私の老後の楽しみ～

老後の楽しみの一つに「乗りテツ」なんて自称したら本物の鉄道マニアに鼻で笑われてしまうだろうが、時間を見つけてローカル線の旅に是非、行って見たいと思っています。まず、乗ってみたい線は、ハケ岳高原線です。山梨県の小淵沢駅と長野県の小諸駅を結ぶ、全国のJR線の中で最も標高の高いところを通る「高原路線」として有名でハケ岳や千曲川等の絶景を車窓から楽しめます。また、旅先でぶらりと入った店で、想定外の美味と出会い、大好きなビールを飲む。これぞ、行き当たりばったり旅の醍醐味です。

お客様の声

Aさんという店員さんに、車の小物(サンシェード、携帯ホルダー、小物入れ)の相談をさせていただきました。サイズ感やどのような品物があるか分からなかった私にやさしく教えてくださいました。セッティングもお付き合いくださり、おかげ様で今まで分からないまま決めかねていた物を購入できました。感謝です。気持ちの良い買い物をさせていただきました。

